



2019年8月19日

Audi Sport、鈴鹿 10 時間 耐久レースに参戦

- 鈴鹿 10 時間 耐久レースに 3 台の Audi R8 LMS が参戦
- IGTC 第 4 戦鈴鹿 直前、Audi Sport はランキングトップのチームとドライバーを射程圏内に捉える
- ワンメイクレースの Audi Sport R8 LMS Cup も同時開催

2019年8月16日、ノイブルク アン デア ドナウ：2016年から開催されているインターコンチネンタルGTチャレンジ (IGTC) は今年、これまでになくスリリングな展開となっています。これまでに開催された3戦では、すべて異なるドライバーが優勝し、ポイントランキングには数多くのチームとドライバーが名を連ね、熾烈なタイトル争いが繰り広げられ、アウディはランキング上位で戦っています。8月25日に開催される鈴鹿 10 時間耐久レースは、アウディ ブランドとドライバーにとって、タイトル獲得に向けた重要な一戦となります。

Audi Sport customer racing (カスタマーレーシング) 統括責任者のクリス ラインケは、次のように述べています。「インターコンチネンタルGTチャレンジは、素晴らしい発展を遂げています。タイトル争いは、これまでになく白熱し、多くのチームとドライバーに可能性が残されています。鈴鹿では、数多くの熱狂的な耐久レースファンの中で、素晴らしいパフォーマンスを披露したいと思っています。今回のレースでは、マシンの外観も見どころの一つとなっています」ドライバーズランキングでは、クリストファー ハーゼがトップと12ポイント差で4位につけています。そのすぐ下には、わずか1ポイント差でAudi Sport ドライバーのフレデリック フェルヴィッヒ (ベルギー)が続いています。残りの2レースでは、最大50ポイントを獲得できる可能性がまだ残っています。マニファクチャラーズランキングでは、この唯一の世界的GT3レースシリーズに参戦している8ブランド中、3番目のポジションにつけています。

鈴鹿 10 時間耐久レースは、昨年度から IGTC カレンダーに追加され、そのデビューレースでは、Audi Sport Team Absolute Racing が表彰台を獲得しています。中国から参戦しているこのチームは、今年もAudi R8 LMSでレースに臨みます。インゴ マッターとファビエン フィオール率いるこのチームのドライバーは、昨年同様、ドイツ人のクリストファー ハーゼとマルクス ヴィンケルホックです。さらに、同じドイツ人のAudi Sport ドライバー、クリストファー ミースが加わって、耐久レースを戦います。ヴィンセント フォッセ率いるベルギーのチーム、Audi Sport Team WRT も、Audi R8 LMSで参戦します。ドライバーは、今年のニュルブルクリンク 24 時間レースで優勝した2人のベルギー人、ドリス ヴァンスールとフレデリック フェルヴィッヒです。さらに、南アフリカ人のドライバー、ケルビン ファン デルリンデがチームメイトとなってポイントの獲得を目指します。

この2台のレースカーには、「RS モデル誕生 25 周年」をテーマにしたプロモーションが施されています。Audi Sport Team WRT のAudi R8 LMSは、記念のロゴとカーナンバーの25に加え、歴代のRSモデルに共通する伝統のイメージカラー、ノガロブルーを纏っています。ノガロブルーは、1994年に登場したAudi RS 2に初めて採用され、それ以来RSモデルを象徴するカラーとなっています。Team Absolute Racingのレースカーは、ホワイトにペイントされ、カーナンバーは125です。このマシンにも、25周年記念のロゴが配されています。

3台目は、Audi Team HitotsuyamaのAudi R8 LMSです。SUPER GT シリーズにフル参戦しているこのチームは、昨年同様、ホームレースとなる鈴鹿 10 時間耐久レースにスポット参戦します。昨年のレース

では、リチャード ライアン (英国)、富田竜一郎 (日本)、アレッシオ ピカリエロ (ベルギー) のトリオで、予選 9 番手を獲得、レース序盤では 3 番手を走行しました。最終的には 8 位でフィニッシュして、素晴らしいパフォーマンスを観衆に印象付けました。今年も再びこの 3 人のドライバーでレースに挑みます。カーナンバーは、昨年と同じ 21 です。

さらに、鈴鹿 10 時間耐久レースでは、サポートレースとして、Audi Sport R8 LMS Cup も開催されます。今年で 8 年目を迎え、R8 GT3 レースカーを使用する唯一の世界的ワンメイク カップレースは、今シーズン開催される全 5 戦のうち、第 4 戦が日本で開催されます。2 つのスプリントレースでは、GT3 クラスに加え、GT4 スポーツカー クラスでも、最終戦を待たずに年間タイトルが確定する可能性があります。どちらのカテゴリーも、最初の 6 レースで 5 人の異なるドライバーが優勝しました。現在、ヤッサーシャヒン (オーストラリア) が、アレックス アウ (香港)、トニー ベイツ (オーストラリア)、アンソニー リュウ (中国) を抑えて、ドライバーズランキングをリードしています。日本の Audi Team AS Sport は、鈴鹿でカップデビューを果たします。ドライバーの田ヶ原章蔵は、日本に初めて上陸した Audi R8 LMS GT4 のハンドルを握ります。カップレースの参加者と、インターコンチネンタル GT チャレンジのドライバーは、独特なコースレイアウトを特徴とする鈴鹿サーキットを走ることを楽しみにしています。多種多様な 18 のコーナー、大きな高低差に加え、8 の字レイアウトによって、ドライバーは同じ周回で時計回りと反時計回りの両方を体験することになります。これらの特徴によって、鈴鹿サーキットは、非常にテクニカルなサーキットとして知られています。

鈴鹿 10 時間 耐久レースに参戦する Audi Sport customer team :

#21 Audi Team Hitotsuyama

リチャード ライアン/富田竜一郎/アレッシオ ピカリエロ

#25 Audi Sport Team WRT

ケルビン ファン デル リンデ/ドリス ヴァンスール/フレデリック フェルヴィッヒ

#125 Audi Sport Team Absolute Racing

クリストファー ハーゼ/クリストファー ミース/マルクス ヴィンケルホック

※本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。